

令和7年度病院前救護所検討へ向けた試行訓練（習志野第一病院） 報告書

実施日時：令和7年12月6日（土） 13時00分～14時30分

【目標1】想定エリアに救護所を設置し、必要物品を確認する。また、救護所内のトリアージエリア・軽症者治療エリアも併せて確認する。

項目	詳細・課題
(1)設営場所の確保	○正面入口を入ってすぐ右側に受付ブースの設営とした。
(2)設営	○院内での設営のため、机・椅子・ホワイトボードのみを用いて受付ブースを開設した。
(3)トリアージエリアの確認	○受付後すぐにトリアージを行う。
(4)軽症者治療エリアの確認	○正面入口入って左側のスペースが緑患者の待機スペースと治療スペースとなる。

【目標2】傷病者の来場を想定し、傷病者来院から受付トリアージを行う。緑は軽症者治療ブースで治療後帰宅とし、黄・赤は院内の治療エリアに搬送する手順や方法を確認する。

項目	詳細・課題
(1)トリアージ・カルテの記録	○想定される傷病について、トリアージを10例実施した。 ○カルテ、傷病者一覧の作成は手書きとなるため時間を要する。
(2)搬送手順の確認	①傷病者一覧を作成しトリアージ ②緑は処置ブースへ、黄・赤は院内受付（総合案内の場所）へ案内し院内搬送。 院内搬送ではカルテ、トリアジタグを持たせる。
(3)搬送に係る動線の確認	○全ての来院者は正面玄関を入って右手で受付をする。受付後は、 緑…トリアジタグをもって緑処置ブースへ移動。処置後はポプラ前出入口より 帰宅とする。 黄…院内受付で受付をし、黄待機所へ搬送する。 赤…院内受付で受付をし、緑処置ブースは混雑が予想され赤患者を搬送する動線 としてふさわしくないと考えられるため、黄待機所を通って赤待機所へ搬送 する。

【目標3】院内災害対策本部及び市災害医療本部への救護所設置報告、及び定時報告等の情報伝達方法を確認する。

項目	詳細・課題
(1)情報伝達方法	○市受付と院内本部が近距離のため、基本的な情報伝達は直接（紙面及び口頭）とする。 ○伝達した情報の管理方法を今後検討していく必要がある。（情報の集約等）